

昨

年に続き今年もアナログオーディオフェア（5月 東京・秋葉原）に沖縄から参戦した知名御多出横。

「昨年は展示のみでしたから、いろいろと説明しても今ひとつ納得してもらえなかった。今回は音出しのデモもして、『このスピーカーとアンブからどうしてこんな音が』という反応を引き出せていたように思います」

そう話す同社の知名宏師代表。沖縄県外で多数のお客を前に音出しを行なうのは今回が初めてながら、手応え充分だったようだ。

1975年創業の同社。柱となる技術が「電気溶接」と「全指向性スピーカー」だ。ハンダを用いず独自手法による溶接で部品の接続を行なうことで、雑味のないストリートな音を獲得。またスピーカーは低・中・高の全帯域をフルレンジ型ユニットひとつだけでまかない、デイフュー

## アナログオーディオフェアで初の音出し！ 耳目を引きつけた「電気溶接」「全指向性スピーカー」



知名御多出横（知名オーディオ）の知名宏師代表（右）と、同社広報・事務担当の知名亜美子さん（左）

知名御多出横（知名オーディオ）  
代表  
**知名宏師**

ザーと組み合わせて全指向的に音を拡散する。「スピーカーがこういう形だと、聴きやすそうというイメージだけで捉えられがちです

が、違うんです。この形じゃないとライブ感が出ない。ドラムのシンバルひとつとつても、360度方向にしつかり音を出してやらないと音場が

つけれない。しつかりしたステレオ感が得られないんですよ」

機能も構造も必要最小限、

が基本。低域や高域に過度な演出を施してインパクトを狙うのではなく、エネルギーバランスを整えることに注力する。「細かい……細かいすぎる方が多いなあという印象でした（笑）。オーディオファンは機械そのものに入れ込みがちなものですけど、もう少し音楽を楽しもう、と言いたくなりました」とは、「今回アナログオーディオフェアで接したオーディオファンの印象は？」という問いへの答え。そこに垣間見られるように、知名御多出横の思いは、聴いて楽しい音楽を再生するため、という一点に雑味なく

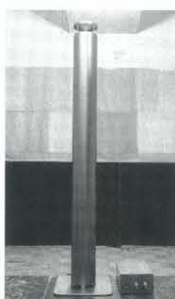
つながっている。頻繁には難しいようだが、県外での試聴イベントを今後とも継続して行なっていきたいと話す知名代表。また今年4月には本社ショールームを改築し、「知名オーディオミ

ュージウム」をオープンさせた。沖縄観光の折にはこちらへのお立ち寄りも、ぜひお薦めしたい。



住所：沖縄県沖縄市中央3-13-11  
Tel: 098-938-3994  
営業時間：10:00～18:00（日曜定休）  
入場無料  
URL: <http://www.audio.co.jp>

今年4月オープンした「知名オーディオミュージウム」。同社商品のひとつの試聴だけではなく、約4mの音道を備えたトリプルコーン型ユニット採用バックロードホーン式スピーカーや、80cmウーファー2発を壁に埋め込んで建物自体をエンクロージャとして作用させる「超巨大システム」の音を体験できるスペースになっている。「冷やかし大歓迎です。ぜひ実際の音を体感しに来てください」（知名代表）



同社製ホームユース・システムのベーシックとなる、8cm径フルレンジ採用高さ1mのスピーカー（再生周波数帯域35Hz～30kHz）と10W+10Wアンプのセット。スピーカー内部には、コーン紙から湿気を排除するための給電型特殊ヒーターが取り付けられている。セット価格¥250,000。なお出展した「アナログオーディオフェア」では、20cm径フルレンジ搭載・高さ2mタイプの大規模デモを行なった